

【交付金：社会資本整備総合交付金】

社会資本総合整備計画 事後評価

計画名

宮古地区における市民や観光客の利便性・安全性の向上と環境緑地の確保

平成 28 年 9 月 26 日

宮古島市 建設部 都市計画課

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 9 月 26 日

計画の名称	1 宮古地区における市民や観光客の利便性・安全性の向上と環境緑地の確保									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			交付対象	宮古島市					
計画の目標	<p>本計画は近年、都市の拡大に伴う生活環境の悪化や都市生活に生じる緊張感からの解放などから、豊かな市民生活を営める快適な都市環境の整備を行うため、緑あふれる公園の整備をめざすとともに、老朽化した遊具等の再整備やバリアフリー化を行うことにより、利便性・安全性の向上を図る。</p>									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 宮古島市における一人あたりの都市公園面積23.47㎡から23.87㎡に増加 宮古島市におけるバリアフリー対策適合公園率20.0%から40.0%に増加 									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値	中間目標値	最終目標値	
							(H21末)	(H24末)	(H26末)	
	宮古島市における都市公園の平成21年度から平成26年度末までの一人当たりの面積						23.47㎡	23.67㎡	23.87㎡	
	宮古島市における平成21年度から平成26年度末までのバリアフリー化された都市公園の率						20.0%	26.6%	40.0%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	392 百万円	A	392 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
宮古島市にて実施	平成28年9月
	公表の方法
	宮古島市のホームページ等で掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	沖縄	宮古島市	直接	宮古島市	都市公園等事業(カマナ嶺公園)	展望台、トイレ・駐車場、照明 10.9ha	宮古島市						382	継続
1-A-3	公園	沖縄	宮古島市	直接	宮古島市	宮古島市公園施設長寿命化計画策定調査	公園施設の長寿命化計画策定	宮古島市						10	
合計													392		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

その他関連する事業

事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
								H22	H23	H24	H25	H26			
A	公園	沖縄	宮古島市	直接	宮古島市	都市公園事業(バイナガマ公園)	園路広場、駐車場 8.9ha	宮古島市						714	継続
	公園	沖縄	宮古島市	直接	宮古島市	宮古島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	市都市公園の防災機能向上等	宮古島市						200	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>・公園内の園路やトイレ等の施設をバリアフリー化することにより、高齢者や障害者だけでなく、公園利用者にとって安全で安心して利用できる空間を創出することができた。今後は施設などのハード面だけでなく、バリアフリー化した施設が機能を果たすよう、ソフト面でのバリアフリー化(心のバリアフリー化)を推進していき、より安全性・利便性を向上させた公園を目指す。</p>			
II 定量的指標の達成状況	バリアフリー化された 都市公園の率	最終目標値	40 %	目標値と実績値 に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	40 %		
	一人当たりの 都市公園面積	最終目標値	23.87 m ²	目標値と実績値 に差が出た要因	<p>最終目標値(以下、目標値)を下回る結果となった。要因は、その他関連事業(パイナガマ公園)において、用地取得が難航したことで整備が遅れが生じ、期間内に供用開始できなかったことが主である。尚、本公園は平成28年度には整備を完了し、平成29年度に供用開始予定である。</p> <p>※最終実績値(以下、実績値)が当初現況値(以下、当初)を下回っているのは、当初と目標値の算出方法が異なるためである。本来、当初、目標値は同一算出方法により設定すべきであるが、当該計画における当初と目標値の算出方法に齟齬があった為(当初の見解に誤り)、実績値が過誤となった。</p> <p>本評価の実績値を当初の算出方法ではなく、目標値の算出方法と同じにした結果 21.13m² となったが、同様に当初を再算出すると 20.94m² となり、実績値は当初より増加する(人口の減少による相対的な増加)。従って、一人当たりの都市公園面積が減少しているわけではない。</p> <p>しかしながら、目標が未達成に変わりはないため、速やかにパイナガマ公園及びその他公園の供用開始等を行い、次計画にて目標達成を目指す。</p>
		最終実績値	21.13 m ²		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					
<p>本計画の基幹事業カママ嶺公園整備事業を推進し、その他関連事業と一体となって緑あふれる公園の早期整備を図る。</p>					

【社会資本整備総合交付金 事後評価結果 総括表】

平成28年 9月26日
 沖縄県 宮古島市

計画番号	計画の名称	交付団体	着手年次	完了(予定)年次	計画の成果目標(最終)	要素事業の進捗状況				評価指標の実現状況					事業効果	
						中間評価時点				中間評価時	最終年度					
						全体事業数	未完了事業数	完成済			目標値	実績値	増減	備考		H26末目標達成率
								事業数	施設名							
1	宮古地区における市民や観光客の利便性・安全性の向上と環境緑地の確保	沖縄県 宮古島市	H22	H26	都市公園の一人当たりの面積が 23.47㎡(H21末)から 23.87㎡(H26末)に増加	—	—	—	—	—	23.87㎡	21.13㎡	-2.74	カママ嶺公園については、次計画へ継続移行	0%	快適な都市環境の創出
			H22	H26	バリアフリー化された都市公園の率が 20%(H21末)から 40%(H26末)に増加	—	—	—	—	—	40%	40%	±0		100%	安全性の向上等

宮古地区における市民や観光客の利便性・安全性の向上と環境緑地の確保

事業主体 沖縄県 宮古島市
計画期間 H22～26

■計画の概要

計画の目標

本計画は近年、都市の拡大に伴う生活環境の悪化や都市生活に生じる緊張感からの解放などから、豊かな市民生活を営める快適な都市環境の整備を行うため、緑あふれる公園の整備を目指すとともに、老朽化した遊具等の再整備やバリアフリー化を行うことにより、利便性・安全性の向上を図る。

成果目標

一人あたりの都市公園面積が23.47㎡から23.87㎡に増加。
バリアフリー化された都市公園が20%から40%に増加。

赤枠：社会資本整備計画期間(H22～H26)

整備年度	H21末	H23	H24	H25	H26末	H27	H28	H29
公園面積	23.47	23.57	23.67	23.77	23.87	—	—	—
バリアフリー化	20.0%	20.0%	26.6%	33%	40.0%	—	—	—
備考			カママ嶺公園	大野越公園	福里公園	—	—	—

事業内容

- 要素事業数 2 (内1事業については、H27～の計画で継続)
- 都市公園等事業【カママ嶺公園】(展望台、トイレ・駐車場、照明 10.9ha)
 - 公園施設の長寿命化計画策定

その他関連する事業

- 都市公園等事業【パイナガマ公園】(園路広場、駐車場 8.9ha)
- 宮古島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

■事後評価の結果

事業実績

完成した代表例

整備前



整備後



安全性の向上

カママ嶺公園 : バリアフリー化トイレ整備

成果目標

バリアフリー化された都市公園の割合

$$\text{整備率} = \text{適合都市公園数} / (\text{対象都市公園数}) \times 100\%$$

6 / (15) × 100 = 40% 目標通り達成

今後の方針

成果目標の「一人当たりの都市公園面積」については未達成である為、平成27年度以降も引き続き、その他関連事業と一体的な整備を行っていきたい。

(参考図面)

